



入来

伝統的建造物に

思いをはせて

10月12日(日)、入来小学校から樋脇町丸山公園までのコースで、いきファミリーハイキングが開催されました。今回は入来麓の武家屋敷群内を散策するルートで、約700人が参加しました。参加者は、さわやかな秋風に包まれ、清色城下巡りを楽しんでいました。



上甕

甕大明神橋が

黄金色の夕日に染まりました

10月上旬は、上甕島と中甕島の間にかかる甕大明神橋に沈む夕日が、一番きれいに見えるといわれています。写真愛好家の皆さんは、日によって姿を変える黄金色の夕日を逃すまいと、連日、中甕島の高台からカメラを構えてシャッターを切っていました。



下甕

かわいらしい力士の姿に

観客も盛り上がりました！

10月11日(土)、新田神社横の公園で、手打秋祭り相撲大会が行われ、青空の下、幼稚園児や小学生による取り組みが行われました。かわいらしい力士姿の子どもたちの取り組みに、見物客からは歓声が上がり、終始笑顔や拍手が絶えませんでした。



川内

県知事賞に

家族も喜んでうれしかった

10月17日(金)、全国小・中学校作文コンクール県審査会で「県知事賞」を受賞した東郷小学校6年生の濱田祥多さんが、森卓朗市長に受賞を報告しました。「家族が喜んでくれてうれしい」と話す濱田くん。単身赴任中のお父さんへの尊敬の気持ちを作文にしました。



赤い法被を着た小学生たちによる豊年祝いの俵踊り

祁答院

地域に受け継がれて行く古き良き伝統芸能



子どもたちにもしっかりと受け継がれている馬頃尾太鼓踊り

10月8日(水)、上手地区の豊日靈神社で、また、12日(日)は大村地区の南方神社で、五穀豊穰を祈念し、それぞれ太鼓踊りが奉納されました。

上手地区では、太鼓踊りのほかにも本格的な承継が始まって2年目になる俵踊りも披露され、上手小学校の児童たちが、三味線と太鼓の音に合わせて小さな俵を回して踊りました。

また、大村地区の馬頃尾太鼓踊りは、近年高齢化により踊り手が減少していますが、中学生も参加して、地域に受け継がれる勇壮な踊りが披露されました。



樋脇

念願の人工芝サッカー場

着工式

10月9日(木)、丸山自然公園で、人工芝サッカー場整備工事の安全祈願祭および着工式が行われました。同整備工事はふれあい市民会議において要望されたもので、約1億4,000万円をかけて行われます。来年2月末には完成し、さらなるスポーツ振興が期待されます。



時に激しく・厳かに鳴り響く太鼓(臥龍太鼓)



心が和むキャンドルアートの幻想的な流れ



しなやかで華麗にバレエ演舞



三味線と太鼓の音に、息の合った踊りを披露(想夫恋)

10月13日(月)、薩摩国分寺跡史跡公園で、薩摩国分寺秋の夕べを開催。日高千代子バレエスタジオの華麗な演舞で舞台が始まり、樋脇町の「倉野奴踊り」・東郷町の「臥龍太鼓」・久見崎盆踊り「想夫恋」の郷土芸能が披露されました。最後にゲスト出演で元宝塚歌劇団の上原まりさんによる筑前琵琶と藤舎呂英さんによる鼓の競演があり、会場内は趣き深い音色に包まれました。



みやびやかな筑前琵琶と鼓の競演



奴を振り回して、虫追いの儀式(倉野奴踊り)

川内

趣き深い出し物で観客を魅了

薩摩国分寺秋の夕べ



市内各地から

美しいピンク色の芙蓉の花が、秋の訪れを教えてください。(下甕町瀬々野浦)

まちの話題